

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	都市型ホテル（スタッフ）	・中国や韓国の反日運動の影響もあり、夏休みに向けて海外旅行を計画していた客が沖縄へ流れる可能性が大きく、今年は沖縄への観光客の入込が例年以上に期待できる。
	変わらない	スーパー（企画担当）	・消費税総額表示、競合する大型店の出店から一年が経過し、しばらくはマーケット全体は落ち着きを取り戻すと考えられる。過度の値下げ競争が再燃しない限りは、今月のような状態が続く。
		スーパー（経営者）	・依然として競合店との競争がかなり激しく、それによって単価が厳しい状況にある。また、4月に入って競合店の新店舗のオープン等もあり、かなり厳しい状況が今後数か月は続く。
		コンビニ（経営者）	・無駄な買い物をしない客が増えている。贅沢をしない生活に慣れてきている。
		コンビニ（エリア担当）	・似た商品の中からでは、より価格の安い物を選ぶ傾向が強くなる。購入単価は下がるが、店舗数が増えているので購入頻度は上がり、売上全体としては変わらない数字になる。
		観光名所（職員）	・3月に開催された愛知万博の沖縄観光への影響は今のところ無い。
		ゴルフ場（経営者）	・例年の通り限られた客層を枠内で取り合うが、更に低単価で推移する。
やや悪くなる	その他飲食〔居酒屋〕（経営者） 住宅販売会社（経営者）	・閉店する飲食店が増えている。客は相変わらず、激安店に集中している。 ・公共工事の工事高が漸減しており、国、市町村の財政が厳しく、良い材料がどこにも見当たらない。特に建設業は、今後悪くなる事があっても、良くなる材料は見当たらない。	
悪くなる	-	-	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業（従業員）	・単純にプログラム開発をしてくれる業者やパッケージソフトを販売する業者は多いものの、顧客ニーズに基づきシステムコンサルやコーディネートに対応する業者は未だ少ないと考えられ、当面景気は悪くない。
		通信業（営業担当）	・大型案件、入札案件等が5月以降に集中しているので、期待できる。
	変わらない	建設業（経営者）	・問い合わせ、及び引き合い件数は、横ばいのままである。今後もこの状態が続くものと思われる。
	やや悪くなる	輸送業（営業担当）	・一部の農産物等の不作で、出荷量が全般的に減少する。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・県外において新規求人企業が増加している。それに県外で働きたい新卒者が少しずつ増えてきている。県内企業においては、日中・日韓、暴動問題で旅行先を沖縄へ変更する観光客が増え、観光関連の企業の求人数が伸びてやや良くなる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・前倒し傾向の採用活動は慎重に見なければならぬものの、景気をすぐさま阻害する要因は見当たらず、今後も求人は伸びる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・派遣先では人材を求めているものの、相当する人材が見つかるまで時間がかかる。また、失業率が高いにもかかわらず募集に人が集まらない。
職業安定所（職員）		・3月の新規求職申込件数及び月間求職者数は、前年同月比で新規0.7%減、月間有効は5.7%と増加である。求職者は滞留し、一旦離職すると再就職が厳しい。特に新規求職者申込件数においては、主婦層を中心としたパート求職、雇用保険受給者が及び無業者、在職者、事業主都合離職者等の求職者が増加となっている。3月の新規求人数は、前年同月比で24.0%増加、過去14か月間の推移をみると増加傾向である。今後も改善の動きがみられるが、求職、求人とも増加傾向で推移していくものと考えられ、求人・求職間のミスマッチから雇用情勢は依然として厳しい状況が続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	-